

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 課題探究型学習の指導方法を探究する会

テーマ 令和4年度から開始される新学習指導要領のテーマでもある「探究」をテーマに、各教科ならびに総合的な探究の時間において、岐阜を愛する生徒の育成に向けた課題探究型学習の指導方法を研究し、校内に探究の必要性とともに伝達する。

取組のポイント・成果

年間8回マイプロ主催探究交流会に参加するとともに、主催事業として下記の取り組みを実施した。

5月8日（土曜日）午後1時30分～ 「探究スタートアップイベント」（オンライン）

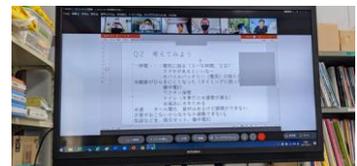
自ら学ぶ教職員グループを発足にするにあたり、活動の方向性を定めることを意図して、地域活動に取り組んでいる生徒をゲストに迎えて、教員側が生徒の課題探究活動をどう支援すべきかを学ぶ場として位置付けた会を企画した。生徒が何を望んでいるのかなどを学ぶ機会になった。（進行：郡上北高 熊崎教諭）
参加者：生徒5名（郡上北） 教員参加数9名（岐阜県内外問わず） 地域6名

6月26日（土曜日）午後1時30分～ 「防災」に関する探究交流会（オンライン）

防災をテーマにした、1日完結型の課題探究学習会を企画・運営。Facebookで告知することで、他県で防災教育に関わっている地域団体関係者も参加し充実した会となった。また、県内4校の生徒が参加するなど、地域を問わず参加できるというオンラインのメリットを実感した。ブレイクアウトルームに分かれて、会メンバーが司会をすることで探究を促す指導法を学ぶ機会となった。（進行：郡上北高 伊藤教諭）
参加者：生徒11名（大垣南・郡上北・羽島北・不破） 教員参加数5名 地域3名

10月16日（土曜日）午後1時30分～ 探究交流会「本番に役立つ避難訓練」（オンライン）

学校で実施されている避難訓練の疑問から、どのような避難訓練を実施することが望ましいかを検討する意見交流会を企画・運営した。将来、岐阜県で教員になりたいと考えている大学生も招き、高校生・大学生・防災士・教員とバリエーションに富んだメンバーによる会になった。探究活動を進める上で必要となるファシリテーターとしての技術を学ぶ機会になった。（進行：大垣南高 可知教諭）



オンラインによる交流の様子

参加者：生徒10名（大垣南・郡上北） 学生3名（岐阜・都留文科・名古屋商科） 教員4名 地域3名

12月11日（土曜日）午後1時30分～ 岐阜県マイプロ探究交流会（オンライン）

岐阜県内の高等学校、高等専門学校で総合的な探究の時間等で課題探究学習の取り組んだ生徒が、これまでの課題探究型学習の成果を交流するイベントを一般社団法人ココラボとともに実施した。大学教授、有識者を助言者として招いた。本会は学校間総合ネットワークを利用して県内高校に広く募集をかけた。他校の探究活動を知り、助言者による活動の価値づけの必要性の認識など多くを学ぶ機会となった。
参加者：生徒15グループ（大垣南・郡上北・県岐阜商・岐阜高専） 教員5名

今後の課題

コロナ禍における課題探究型学習は学校によって実施が難しい場面があった。しかし、郡上北高等学校で実施した「ICT」ならびに「探究活動」を取り入れた授業研究会には県内の高等学校から約20名の参加者がおり、学びのニーズの高さが伺われた。また、学校間総合ネットワークを使用した情報発信では、自校での実施は難しいが情報を得たいという教員がLINEグループ（オープンチャット）に加入するなどしており、今後も継続的に活動をしていくことで岐阜県内への広がりが期待できるものと考えられる。